研究体制

1　研究主題

「読み取る言語能力を高め、自分の思いや考えを意欲的に伝えることができる児童生徒の育成」
～　主体的・対話的で深い学びの授業づくりを通して～

2　研究内容

【重　点　内　容】	
≪主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくり≫ 言語能力の育成に重点をおいた課題の発見と解決に向けて、主体的・対話的で深い学びができる指導方法の工夫・改善	
【研　究　内　容】	
○授業づくりの工夫 ・学習材の読み取りの重視 （文章　写真　グラフ　絵　映像等） ・思考をつなぐ学習展開の工夫 ・学びの中で得た情報を生かした振り返りの共有	○言語能力の向上 ・音読、スピーチ等の取組 ・書くことに意欲的になれる取組 （子ども高知新聞への投稿・各種コンクールへの参加） ・学校図書館の活用の仕方の見直し （読むことを楽しむ活動の重視）

3　研究組織

《小中合同研究推進委員会（企画）》
○校長　○小中教頭
○小中教務主任　○小中研究主任
○三部会の長　○探究指定担当

↓

《研究推進チーム》
○小中研究主任　○探究指定担当

小学校（小研究主任）
○高学年ブロック キャップ
○中学年ブロック キャップ
○低学年ブロック キャップ

中学校（中研究主任）
○1年団ブロック キャップ
○2年団ブロック キャップ
○3年団ブロック キャップ

↓

小中合同校内研